

令和元年9月20日

2019 公募展 「星のある風景写真」 審査総評

今年度も公募展「星のある風景写真」に多くの方のご応募いただきまして、まずお礼申し上げます。

今年の審査会の中でレベルが上がってきているという意見が多く聞かれ、審査する側としても気の抜けない状況がありました。北海道～沖縄までの色んな地域での撮影された作品は見応えがあり、撮影者の個性が光る作品が審査員を悩ませました。

そんな中で最終審査に残った作品の中からグランプリを含め各賞が決まってゆきました。今年新たに設けた「ヤング部門」への応募者がやや少なかったのは残念でしたが、10代～80代までの応募者があり年齢層もぐんと広がり手応えも感じられ、今後の開催に弾みがつくものと思われます。

さてそんな審査の中で幾つかの問題点を感じたので、今後の応募の参考にしていただければと思います。まず「星のある風景写真」ですので、星空が写っていればという作品も幾つかありました。やはり構図が重要ですし、そしてタイトルも大事です。

＜技術的なことを一つ＞プリントしたら良く乾いた状態にして送って頂かないと、中間紙などに付いてしまっていた物もあり注意が必要です。皆さんの大事な作品を拝見いたしますので、最高の状態でお送りください。

最後に、皆さんの星空に対する情熱を感じることができた審査会となり、一同からの感謝とご報告にといたします。

ありがとうございました。

審査委員一同
写真展実行委員会